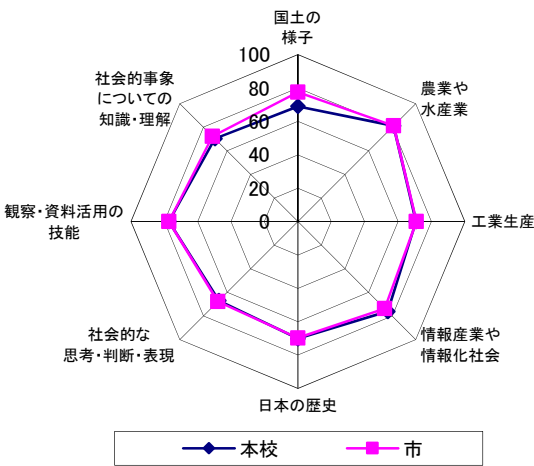


宇都宮市立細谷小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	69.0	77.5	74.0
	農業や水産業	81.3	81.1	73.7
	工業生産	70.8	71.1	73.5
	情報産業や情報化社会	76.2	73.7	63.2
	日本の歴史	70.1	69.7	73.5
観点別	社会的な思考・判断・表現	66.9	67.7	63.1
	観察・資料活用 of 技能	77.2	77.3	75.5
	社会的事象についての知識・理解	70.3	72.2	73.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	- 本校の正答率は、69.0%で、市の正答率79.1%を大きく下回った。 - 日本の周辺の海洋名についての理解は、63.1%で市の平均を大きく下回り、日本の周囲の国の国旗についての理解は、66.7%で、市の正答率を下回った。 - 森林を守るための間伐については76.2%で、市の正答率82.9%を大きく下回った。	- 資料を正確に読み取る技能を高める必要があると思われる。 - 主に海洋名や国旗については、地図帳等を使って再確認する必要がある。 - わたしたちの環境については、さらに児童の興味関心を高めていけるよう、環境に関するテーマを取り上げ、自然災害が起きた際の自助の大切さを表現できるようにしていく。
農業や水産業	- 本校の正答率は59.6%で、市の正答率65.1%を下回った。 - 農業で働く人々が抱える問題について、複数の資料から読み取り表現する問題については83.3%で、市の正答率83.1%とほぼ同じであった。 - 日本の食料自給率について、資料を読み取る問題では85.7%で、市の正答率の88.9%をやや下回った。	- 農業や水産業は、私たちの毎日の生活と深く結びついていることを再確認できるよう、特色等を考えさせたり、地図や統計からそれを読み取ったり、報道等を日頃から取り上げたりする等、児童の興味関心を高め、理解を深めていく。 - 日本の食料生産が抱える問題について、資料をもとに考えられるように、正確に読み取る技能を高める必要があると思われる。
工業生産	- 本校の正答率は70.8%で、市の正答率71.1%をやや下回った。 - 工業地帯・工業地域の立地について、資料を読み取り考える問題では76.2%で、市の正答率74.2%を上回った。 - 化学工業の製品についての問題では65.5%で市の正答率67.9%を下回った。	さらに、興味関心を高めていけるよう、環境問題や環境保全に関するテーマを取り上げていく。
情報産業や情報化社会	- 本校の正答率は76.2%で、市の正答率73.7%をやや上回った。 - 身の回りのメディアについての問題では、71.4%で、市の正答率71.3%とほぼ同じだった。 - 医療における情報ネットワークの利便性についての問題では、81.0%で市の正答率76.1%を上回った。	医療での情報ネットワークの利便性について、資料化から読み取り、考えることができるよう、いろいろな資料を活用して調べる経験を増やしていく。
日本の歴史	- 本校の正答率は70.1%で、市の正答率69.7%を若干上回った。 - 縄文時代から平安時代の人々の生活に関する問題では88.1%で、市の正答率80.1%を上回った。 - 安土・桃山時代の複数の資料から織田信長の天下統一に向けた政策を読み取る問題では、正答率98.8%と高かった。	- 歴史の内容は、範囲も広く覚える内容が多いが、各時代の流れを関係やその功績についてポイントを絞って押さえていくようにする。 - 人物と時代の流れとの関係や当時の文化について資料から読み取り、まとめる経験等をより増やして、学習内容の定着化を図る。